

山梨県立大学 人間福祉学部

2026 年度 外国人留学生特別選抜

小論文 問題

ヨシコさんが山梨県の「地域住民の付き合い」について調べてきたことを発表し、先生とジロウさんがそれを聞いています。以下の会話文を読んで、そのなかで触れられているデータに基づいて、「地域の付き合い」について、あなたが考察したことを 800 字以内で述べなさい。

ヨシコ： 山梨県が実施したアンケートによると、「望ましい地域での付き合いの程度」という質問に対して、2023 年に「地域の行事や会合に参加したり、困ったときに助け合う」と回答した人は 49.3%で、2019 年の 35.6%から上昇しています。

また、2022 年の内閣府による全国調査で同じ回答を選んだ人の割合は 29.5%なので、この数字はそれを上回っています。

ジロウ： 山梨の人は、地域住民の付き合いを大切にするのかなあ。

先生： でも、実際にどれくらい付き合いしているかを回答した「現在の地域での付き合いの程度」のほうを見ると、「よく付き合いしている」と答えた人の割合は、山梨県でも 2019 年の 17.5%から、2023 年には 12.9%まで減っているね。

ヨシコ： 内閣府の全国調査でも、「よく付き合いしている」と答えた人の割合は 2018 年から 2022 年には減少しているのです。

ジロウ： 実際に地域の人同士で「よく付き合いしている」と思う人は山梨でも全国でも減っているのかあ……。

先生： 地域の付き合いが減ることにはよくない面もあるけれど、付き合いを減らしてしまう理由も理解する必要があるかもしれないね。

※データはすべて「山梨県地域福祉支援計画 “安心して自分らしく暮らすことができる社会づくりを目指して”」2024 年 3 月改定、に基づく。

<https://www.pref.yamanashi.jp/documents/1554/2023keikaku.pdf>

(最終アクセス：2025 年 9 月 24 日)